

the 6th Adaptive Stand-up Tennis East Japan Tournament

第 6 回障がい者立位テニス東日本大会

報告書 Report



Photo by Hitoshi IZUMI



General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2026.7.10

第6回障がい者立位テニス東日本大会 実施概要

- **日 時** 実施日:2026年6月21日(日)
受付開始 9:00～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～
- **場 所** 成田市 重兵衛スポーツフィールド中台テニスコート
千葉県成田市中台5-2
(屋外オムニコート 8 面 No.1~8 使用)
- **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会 (JASTA)
東日本大会実行委員会
- **後 援** 成田市・成田市教育委員会
- **特別協賛** BNPパリバ・グループ・タムラクリエイト株式会社 (Ken's)
- **協 賛** ヨネックス株式会社・株式会社キモニー
- **協 力** 特定非営利活動法人デポーム
- **グレード** JASTA 1,000 point
- **大会委員長** 柴谷 健 (JASTA)
- **競技委員長** 中川勝就 (公益財団法人日本プロテニス協会)



- **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形など)
- **ク ラ ス** PST-1・PST-2・PST-3・PST-5
- **出場者数** PST-1 = 6名・PST-2 = 7名(うち1名当日棄権)・PST-3 = 6名・PST-5 = 2名
- **参 加 費** 5,000円 (一般)・3,000円 (JASTA PLAYERS CLUB会員)
- **競技種目** シングルス
- **審判方法** セルフジャッジ
- **競技方法** PST-1・PST-2・PST-3 = トーナメント方式
JTA テニスルール・PST-3は2バウンド返球

PST-5 = ラウンドロビン方式
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、2バウンド返球
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- **使 用 球** PST-1・PST-2・PST-3 = ヨネックス ツアープラチナム
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30(オレンジボール)
- **表 彰** 各クラス 優勝・準優勝
- **来場者数** 約40名

開催へのご支援お礼

この大会を大きな事故もなく無事に終わられました事を皆さまにご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。あいにく1名の選手が直前の体調不良で出場辞退となり天候が危ぶまれましたが、当日は大きく予定を変更することなく試合進行ができ、出場された20名の選手は存分に実力を発揮されました。

今大会では成田市、成田市教育委員会のご後援を賜り、2社から特別協賛、2社から協賛、1社からご協力を頂いたほか、1団体よりご寄付を頂きました。協力を名乗り出てくださった運営スタッフの皆様には、設営撤収やボールパーソン、交流イベントの運営をお手伝い頂けてとても助かりました。

立位テニスの国際的な認知は向上を続けています。この競技の国際大会は国際テニス連盟（ITF）の後援が定着してきました。大会当日はイタリアのトリノにて立位テニスの世界選手権が開催され、遠征した日本人選手も現地で活躍してくれました。グランドスラム大会の中でも多様なテニスを紹介する動きは加速しており、1月に開催された全豪オープンのAll Abilities Dayに続き、6月には全仏オープンでも立位テニスのショーケースが行われました。

弊協会も、この競技をパラリンピック種目入りやプロ化も目指せる夢のある競技に育てていけるよう、地道に活動を続け、国内での競技の普及発展に努めて参ります。今後も立位テニスにご期待ください。

第6回障がい者立位テニス東日本大会
大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



今大会運営にご協力頂いた皆さま

＜大会運営スタッフ＞ 敬称略、50音順

大会本部

JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・宇野典子・神崎千鶴・坂倉陽子・中川勝就・成島代志子

大会ドクター

JASTA PLAYERS CLUB：太田詔（出場選手兼務）

特定非営利活動法人デポームより協力派遣：乾 哲也（綱島あお整形外科・皮膚科）

大会記録

一般：泉仁志（スチールカメラ）

ボールパーソン・受付・運営

JASTA PARTNERS CLUB：今村正幸・鹿川彰子・庄内久美・柴谷玲子・高野修・高野洋子

一般：鈴木菊乃・鈴木康司・関谷麻理子

心よりご協力に感謝申し上げます。

会場アクセス

＜成田市 重兵衛スポーツフィールド中台＞



電車

JR 成田駅西口より徒歩 15 分



車

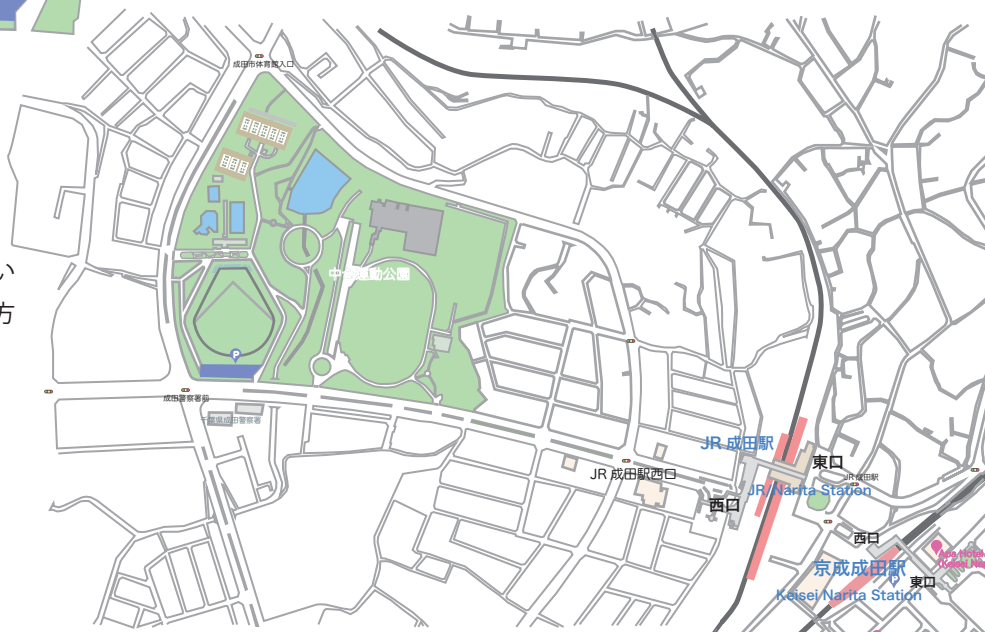
第 1 駐車場または第 4 駐車場（いずれも無料）



第 1 駐車場からテニスコートへは平坦なルートのため荷物の搬出入と下肢障がい選手に推奨
第 4 駐車場からテニスコートへは傾斜のあるルートのため、一般来場者とタクシー利用の選手に推奨



出場選手の中には体温調節が難しい方や身障者用トイレを必要とする方もいます。大会実行委員会では、成田市にご協力を要請し、コート直近のプール利用者用施設を特別に解錠して利用させて頂きました。



スケジュール

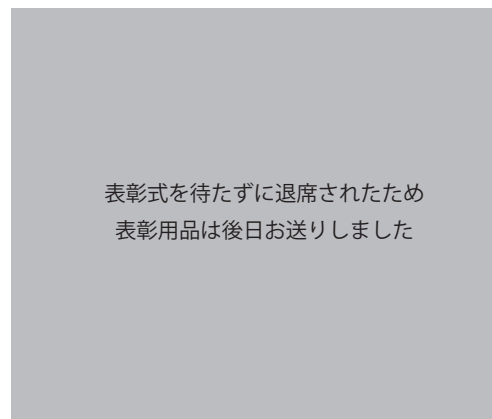
2025 年 11 月 20 日	●	成田市へ優先予約希望提出 ・希望日を複数提示
2025 年 12 月 17 日	●	成田市との調整で予備日含めて 6 月末迄に希望日程を変更
2026 年 1 月 19 日	●	成田市より予約確定通知、日程と場所が確定
2026 年 3 月末	●	成田市より人事異動により新年度より担当者変更の通知
2026 年 5 月初旬	●	大会方針を定め、協賛依頼と出場申込み受付を開始 ・予算書・大会要項を策定 ・協賛金、物品協賛、パンフレット広告協賛の依頼開始 ・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼 ・成田市・成田市教育委員会に後援申請、成田市長臨席依頼、うなりくん出場要請 ・キービジュアル作成、ポスターとチラシを発注 ・大会専用 web ページ立ち上げ ・運営スタッフ協力申込み受付開始
2026 年 5 月中旬	●	協賛、物品協賛決定 ・実行予算書作成 ・成田市・成田市教育委員会より後援承認 ・大会使用球の協賛が決定
2026 年 6 月 6 日	●	出場申し込み締め切り ・ドロー会議 ・表彰用品発注 ・協賛バックバナー発注、運営用品購入 ・当日の傷病受け入れを成田赤十字病院に依頼
2026 年 6 月 11 日	●	ドロー発表・制作物発注 ・プログラム印刷入稿 ・当日配布資料・サイン作成 ・保険加入・お弁当予約
2026 年 6 月中旬	●	協賛品、表彰用品受領 ・配布・掲示用資料出力・大会用備品検品、当日案内を関係者にメール ・ランキング誤記によりドロー訂正して再公開
2026 年 6 月 19 日～20 日	●	搬入物仕分け・積み込み
2026 年 6 月 21 日	●	大会当日
2026 年 6 月 23 日	●	大会パンフレットを協賛各社へ送付 ・貸与バナーの返却
2026 年 6 月 25 日	●	リザルトを公開 ・出場選手の JASTA ポイントを反映したランキングをリリース
2025 年 7 月 10 日	●	大会報告書作成 ・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送予定

ドロー・結果 PST-2

Photo by Hitoshi IZUMI



🏆 優勝 二宮卓也選手（東京都）



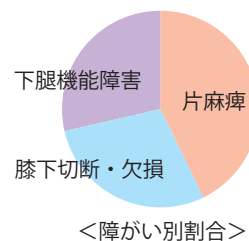
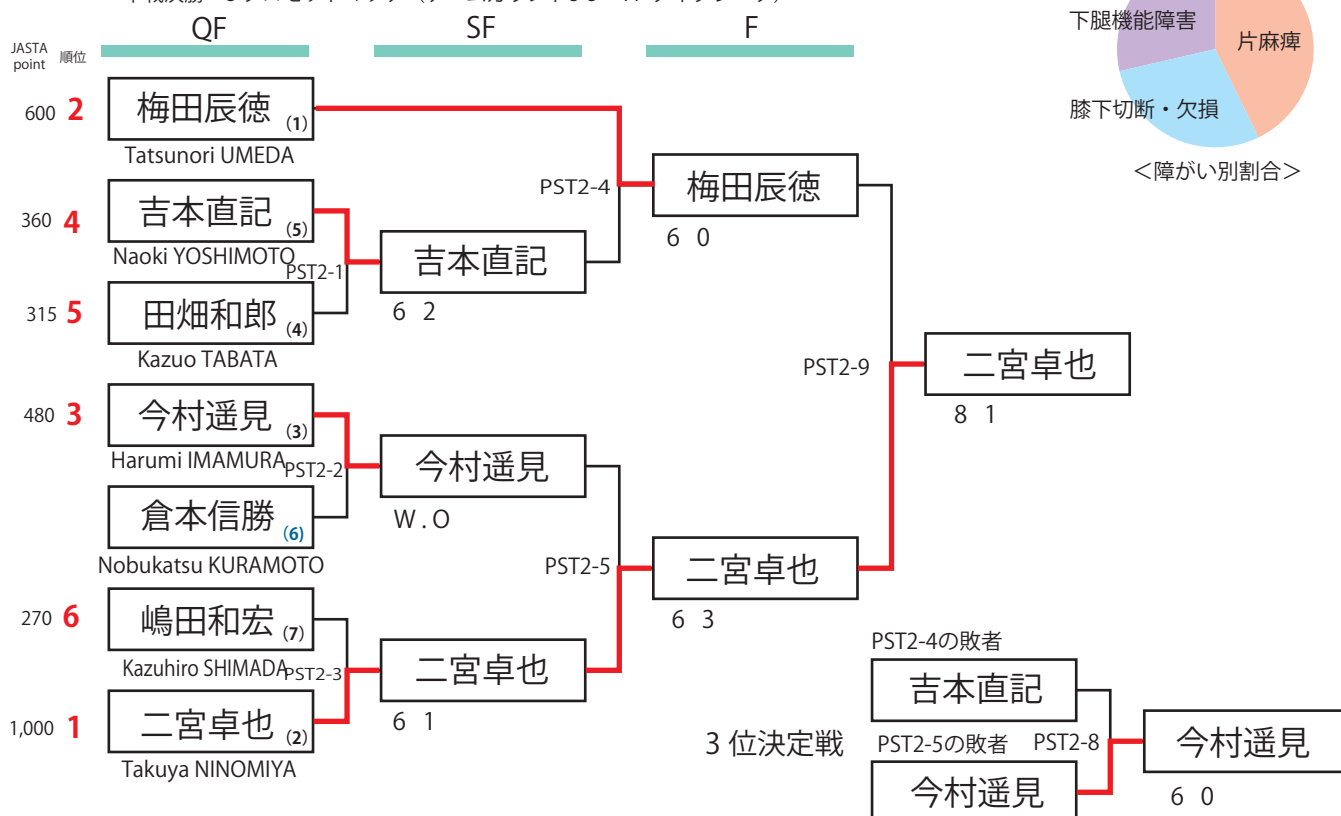
表彰式を待たずに退席されたため
表彰用品は後日お送りしました

🥈 準優勝 梅田辰徳選手（岐阜県）

PST-2 Main Draw

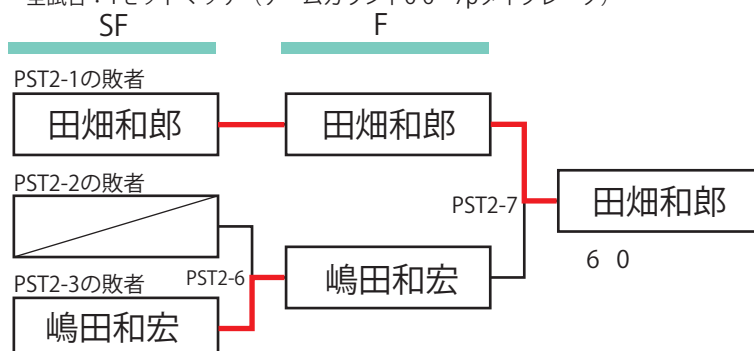
本戦・3 位決定戦：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）

本戦決勝：8 プロセットマッチ（ゲームカウント8-8 7P タイブレーク）



PST-2 Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）



ドロー・結果 PST-3

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



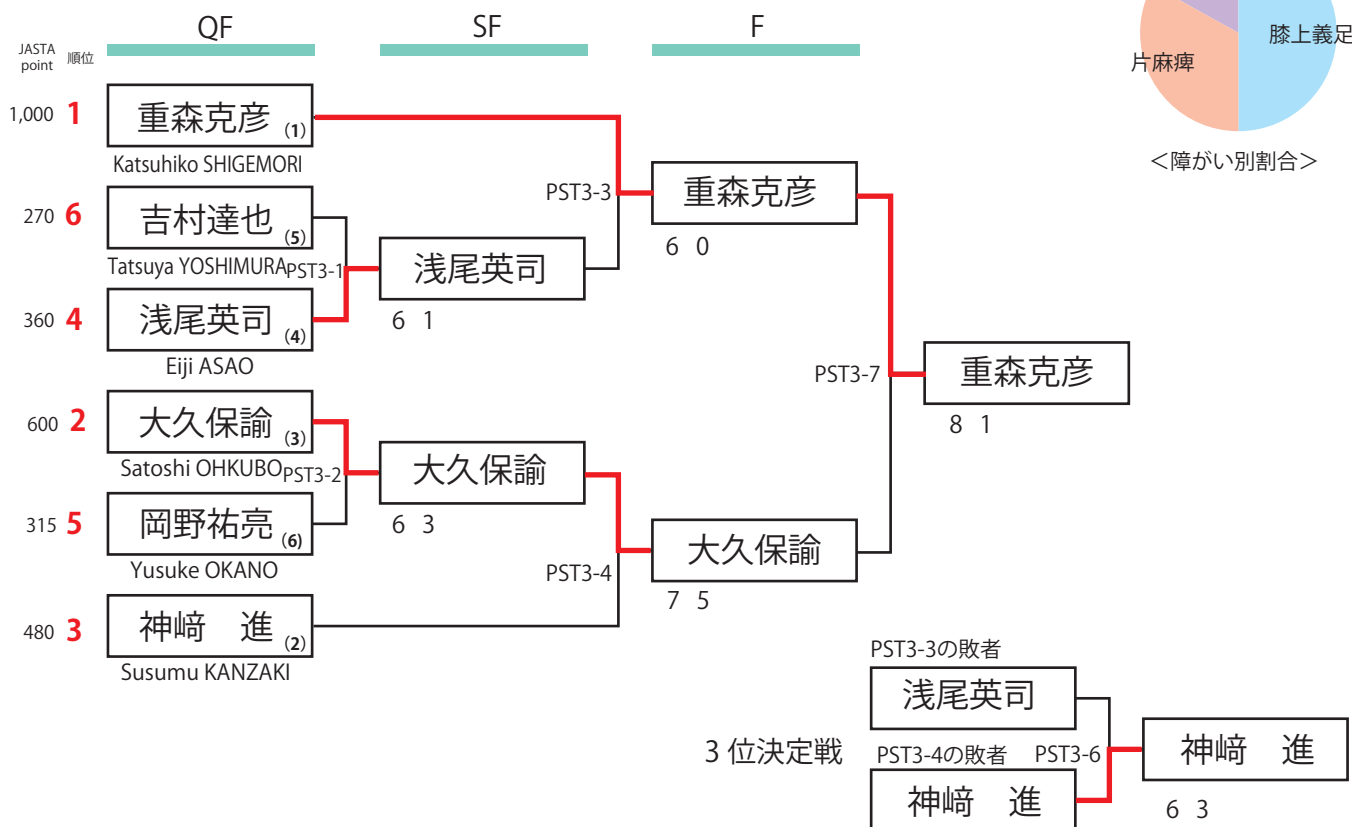
優勝 重森克彦選手（東京都）



準優勝 大久保諭選手（千葉県）

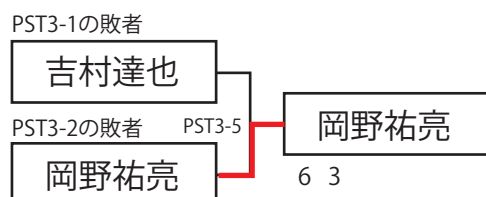
PST-3 Main Draw

本戦・3位決定戦：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）
本戦決勝：8プロセットマッチ（ゲームカウント8-8 7P タイブレーク）



PST-3 Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）
F



ドロー・結果 PST-5

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



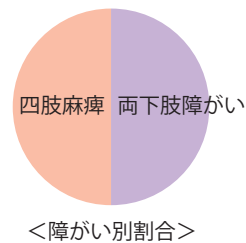
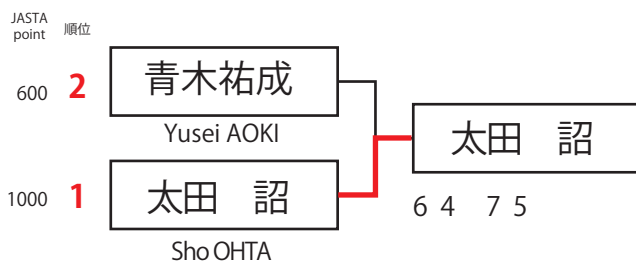
優勝 太田 詔選手（千葉県）



準優勝 青木祐成選手（東京都）

PST-5 Main Draw

3セットマッチ（セットカウント1-1 10pタイブレーク）
第1セット終了後のみインターバルあり



開会式

All Photo by Hitoshi IZUMI



成田市長 小泉一成様と成田市観光キャラクターのうなりくん



競技説明は、競技委員長の中川勝就様よりご説明いただいた



本部スタッフは白のポロシャツを着用



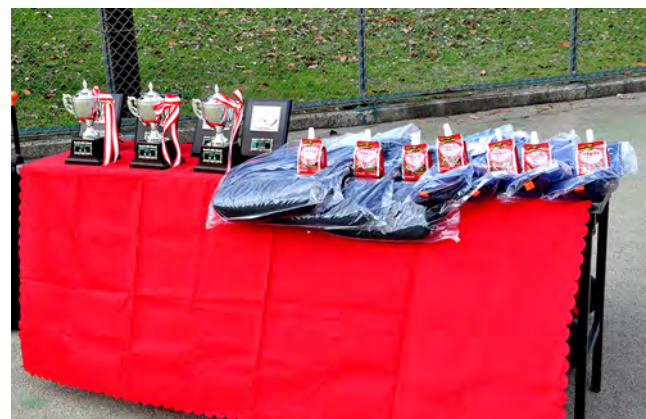
大会ドクターとしてご協力頂いた乾哲也先生

表彰・閉会式

All Photo by Hitoshi Izumi



入賞選手たち、大会当日は父の日。初優勝を家族に報告した選手も



優勝カップと準優勝盾。副賞はヨネックス製品



大会委員長の柴谷健様よりお礼の言葉



10 明治神宮外苑テニスクラブの場長 栗津幸二様にもご観戦頂いた

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



大会名と協賛各社のバナーを設置



バナー・協賛バックバナー設置の様子



異なるボールを使うコート間にはジュニアネットで防球



本部スタッフがネットの高さを確認



本部設営



本部打ち合わせ



オーダーオブプレイの貼り出し



選手受付

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi & JASTA



大会ドクター顔合わせ・乾先生（左）太田先生（右・選手兼）



ご臨席頂いた成田市のこいず m 長と開会式式次第打ち合わせ



競り合う試合となるライバル対戦



PST-5 の試合ではボールパーソンがボールを手渡し



富士薬品のリンゴ酢フジタイムで選手をサポート Photo by JASTA



選手と運営スタッフには「のり弁当」を支給 Photo by JASTA



大会用印刷物 ポスター、チラシ、パンフレットを作成 Photo by JASTA



うなりくんを囲む本部スタッフ

Photo by JASTA

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi & JASTA



NPO 法人デポーム安藤理事長と明治神宮外苑テニスクラブの栗津場長

Photo by JASTA



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ストラックアウト」を併催



＜PST-1＞阿部浩幸選手（静岡県）・右腕神経叢引き抜き損傷



＜PST-1＞佐藤聡一郎選手（神奈川県）・右腕神経叢引き抜き損傷



移転予定の明治神宮外苑テニスクラブ施設計画について打ち合わせ

Photo by Koji AWAZU



選手もイベントに参加して来場者と交流



＜PST-1＞天野圭樹選手（愛知県）・両上肢形成不全



＜PST-1＞鈴木凱大選手（群馬県）・先天性左上肢機能障害

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-2> 今村遙見選手（東京都）・右片麻痺



<PST-2> 嶋田和宏選手（神奈川県）・右片麻痺・言語障害



<PST-2> 田畑和郎選手（東京都）・左片麻痺



<PST-2> 吉本直記選手（神奈川県）・左下肢機能障害



<PST-3> 浅尾英司選手（千葉県）・右大腿切断



<PST-3> 岡野祐亮選手（山梨県）・右大腿切断・初出場



<PST-3> 神崎 進選手（千葉県）・四肢関節拘縮症



<PST-3> 吉村達也選手（東京都）・左下肢麻痺・左半盲

収入の部

項 目	金額 (円)	内 容
参加費	63,000	3,000 円／ 1 人、 21 名 (当日キャンセル 1 名分含む)
特別協賛金	400,000	2 社様より (BNP パリバ・グループ・タムラクリエイト株式会社)
広告協賛金	0	
協力金	300,000	成田市
寄付	147,200	特定非営利活動法人デポーム、個人 3 名、募金
収入合計	910,200	

支出の部

項 目	金額 (円)	内 容
会場使用料	41,280	予備日キャンセル料を含む
大会使用球費	2,250	(一部協賛)
印刷費	32,936	A4 チラシ 400 枚、A2 ポスター 30 枚、A4 パンフレット 100 部 A4 報告書 100 部
デザイン版下作成費	65,000	R-WORKS
要項・協賛依頼作成費	15,000	
会場装飾費	15,862	バックボード作成
配布資料制作費	15,000	対戦表、トーナメント表
運営備品費	262,207	無線機、アクションカメラ、三脚
オレンジコート作成備品費	3,000	50mm 巾マスキングテープ
事務用品費	1,650	ホワイトボード用ラインテープ、領収書用紙
表彰用品費	44,084	優勝カップ 4 点、準優勝盾 4 点、副賞 8 点
参加賞費	0	ご協賛
送料・通信費	15,850	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	4,656	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	24,580	お弁当 + 水
運営スタッフ謝金費	48,000	3,000 円 × 6 名、5,000 円 × 6 名
旅費交通費	17,668	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	3,753	70 名 (選手、スタッフ、イベント参加者) 想定
大会本部経費	60,000	競技委員長、競技副委員長、大会メディカル経費
大会記録費	20,000	スチールカメラマン 1 名
マニュアル・資料作成費	65,000	space design studio arc
雑費	2,175	振込手数料
支出合計	759,951	

収入合計 910,200 円 - 支出合計 759,951 円 = 150,249 円

※ 余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

The 6th Champions & Runners 第6回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi



PST-1 優勝 右腕神経叢引抜き損傷の藤川昌大選手（徳島県）



PST-1 準優勝 右腕神経叢引き抜き損傷の足立優斗選手（兵庫県）



PST-2 優勝 左下腿義足の二宮卓也選手（東京都）



PST-2 準優勝 下肢全ての指を失った梅田辰徳選手（岐阜県）



PST-3 優勝 右片麻痺の重森克彦選手（東京都）



PST-3 準優勝 左大腿義足の久保諭選手（千葉県）



PST-5 優勝 両下肢機能障害の太田 詔選手（千葉県）



PST-5 準優勝 四肢麻痺の青木祐成選手（東京都）

ドロー・結果 PST-1

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



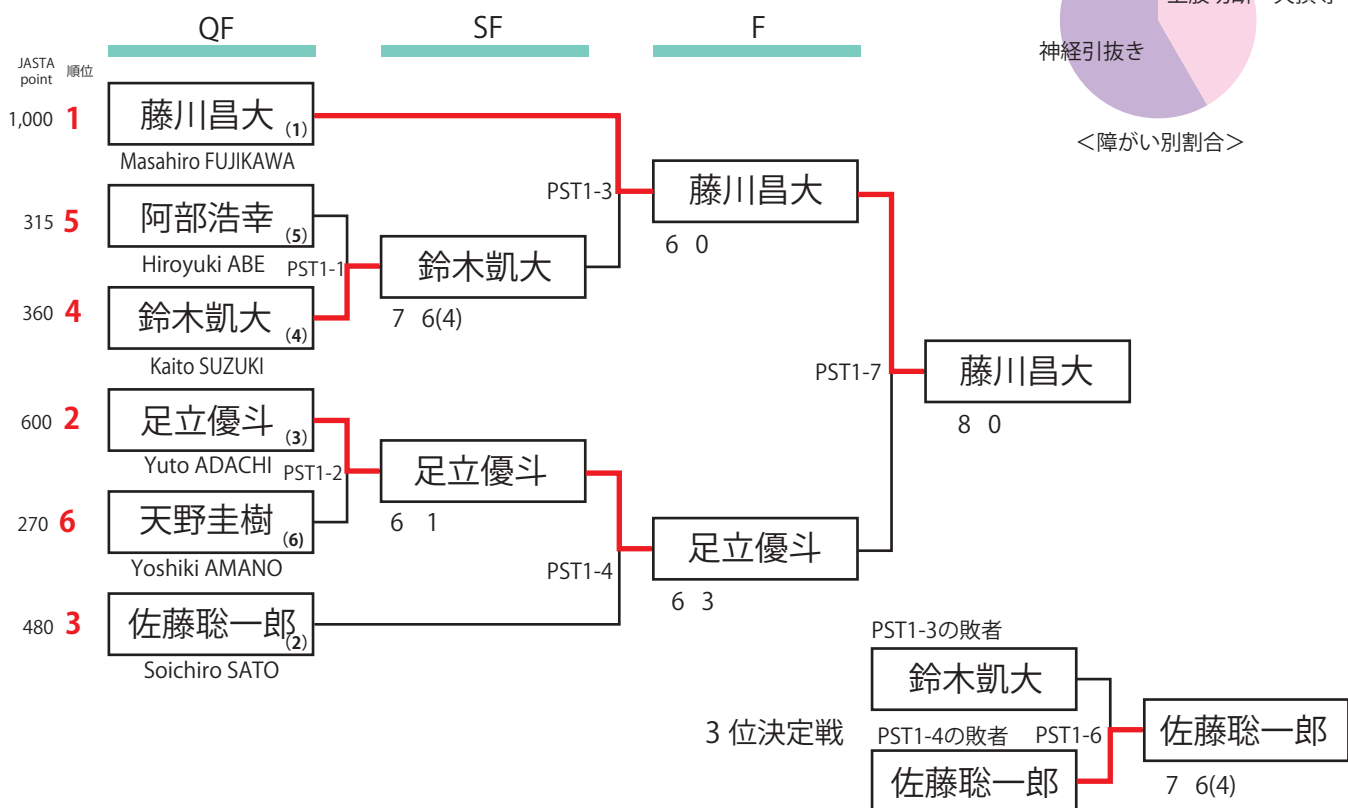
優勝 藤川昌大選手（徳島県）



準優勝 足立優斗選手（兵庫県）

PST-1 Main Draw

本戦・3位決定戦：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）
本戦決勝：8プロセットマッチ（ゲームカウント8-8 7Pタイブレーク）



PST-1 Consolation Draw

全試合：1セットマッチ（ゲームカウント6-6 7pタイブレーク）

